

飲酒運転撲滅宣言企業 (有)共栄資源管理センター小郡



○ 有限会社 共栄資源管理センター小郡様の紹介

共栄資源管理センター小郡は福岡県小郡市の家庭から出るごみ・資源の収集運搬を市から受託している会社です。地域の皆様の暮らしと住まいのお困りごとをワンストップで解決するため生活支援サービス「お仕事人」も展開しています。

企業による地域の安全安心見守り活動「小郡大刀洗地区安全見守りネット110」に加盟。また、仕事中の万が一に備え「普通救命講習」「認知症サポーター」を定期的に受講し、地域の皆さまの不測の事態に目を光らせています。

『みんなの生活を快適にします』この理念のもとアナログでも温かみのある企業を目指しています。

企業HP :

<http://www.kyoeisigen.co.jp/>

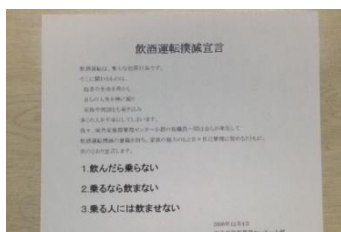


○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 業務開始前にアルコール呼気検査を毎日実施しています。
- ② 飲酒運転撲滅宣言、ハンドルキーパー宣言を行い、従業員の意識づけを行い、飲酒時は、ワッペン等でハンドルキーパー宣言を徹底しています。
- ③ 事業所には、飲酒運転撲滅のポスターやけん垂幕を掲出しています。
- ④ 従業員の子供による飲酒運転防止等に関する図画コンクールを実施し、従業員の無事故無違反の意識づけを推進しています。
- ⑤ 毎年1回以上、警察署の交通課長による飲酒運転撲滅等に関する講習を行い、従業員研修を実施しています。
- ⑥ 毎年、無事故無違反者に対する表彰を実施し、安全運転を推進しています。



事業所内に「飲酒運転免許一発取消」の旗を掲出しています。



「飲酒運転撲滅宣言書」に署名を行いました。

○ (有)共栄資源管理センター小郡の方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 2006年8月に福岡市海ノ中道で起きた飲酒ひき逃げ事故で3人のお子さんの大切な命が奪われたことが大きなきっかけです。

さらに、2011年2月に粕屋町で起きた高校生2人の飲酒運転の車に轢かれ亡くなった事故でますます飲酒運転の凶悪さを認識しました。

こんな悲惨な事故が二度とあってはならないと思い、まずは会社から意識を変えていこうと取組を始めました。



従業員の子供による交通安全に関する図画コンクールや、ハンドルキーパー宣言を行いました。

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 昔はさほど意識は高くなかったと思います。しかし、2006年に社長が「飲酒運転撲滅宣言」すると社内で宣言してからは一変しました。

2007年には県内企業で初めての「ハンドルキーパー宣言」も発表しました。社内の懇親会等は必ずハンドルキーパー証を着け、朝礼前アルコールチェックも毎日欠かさないなど、地域の仕事をさせていただいているという自覚をもった組織に変わっていきました。

毎年、警察署の交通課長による、飲酒運転撲滅などに関する交通安全講習を実施しています。



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転は本人だけでなく、その人を支えてくださった多くの方々を不幸にしてしまいます。人として社会的に絶対に許されない犯罪なんだという意識を全社員で共有してまいります。

啓発活動の一助となれるよう、当社の取組を積極的に発信してまいります。